

令和3年9月21日

堺市

### 赤木橋耐震対策工事の設計図書の訂正について（通知）

赤木橋耐震対策工事の設計図書について、下記のとおり、一部訂正しますので、お知らせいたします。

現在、堺市入札情報公開システムに掲載されている書類は訂正済みですので、再度、ダウンロードしていただくか、お持ちの書類を訂正していただきますようお願いいたします。

なお、開札予定日時、入札書の提出期間の変更はありません。

ご迷惑をお掛けし、お詫び申し上げます。

### 記

#### 1. 訂正箇所

##### <設計書>

- ・内訳書 頁 0-0033 「PC用定着装置（後付用）」の数量  
「40組」を  
「80組」に訂正する。
- ・内訳書 頁 0-0033 「注入材（材料費）」の数量  
「1本」を  
「40本」に訂正する。
- ・内訳書 頁 0-0044 「側溝復旧工」の「コンクリート」と「型枠」の構造物種別  
「無筋・鉄筋構造物」及び「鉄筋・無筋構造物」を  
「小型構造物」に訂正する。
- ・内訳書 頁 0-0044 「側溝復旧工」の「型枠」の備考  
「第 0-0026 号代価表」を  
「第 0-0090 号代価表」に訂正し、新たに「第 0-0090 号代価表」を頁 0-0180 に追加する。これに伴い、以降の代価表の号数及び頁を繰り下げる。
- ・代価表 第 0-0089 号 「側溝復旧工—コンクリート」の A 構造物種別  
「1 無筋・鉄筋構造物」を  
「2 小型構造物」に訂正する。

##### <特記仕様書>

- ・頁 28 「4.見積りにより決定した歩掛について」の代価表の号数  
代価表 第 0-0090 号の追加に伴い、以降の代価表の号数を訂正する。

<見積り単価>

- ・積算参考資料 3/3 「本工事の積算で採用した見積単価」に「再生粒度調整砕石 RM-25」を追加する。

2. 訂正内容

<設計書>

- ・内訳書 頁 0-0033 「PC用定着装置（後付用）」と「注入材（材料費）」の数量

<<訂正前>>

6	PC用定着装置（後付用） φ26鋼棒用 アンカープレート、ナット、ワッシャー	40	組
6	注入材（材料費） 0.81kg/本 エポキシ樹脂系	1	本

<<訂正後>>

6	PC用定着装置（後付用） φ26鋼棒用 アンカープレート、ナット、ワッシャー	80	組
6	注入材（材料費） 0.81kg/本 エポキシ樹脂系	40	本

- ・内訳書 頁 0-0044 「側溝復旧工」の「コンクリート」と「型枠」の構造物種別

<<訂正前>>

4	コンクリート 18-8-25 (20) BB	2	m <sup>3</sup>	Y173520342K	単位数量:( 1 )
6	無筋・鉄筋構造物 人力打設	1	m <sup>3</sup>		第0-0089号代価表
4	型枠	19	m <sup>2</sup>	Y1735203420	単位数量:( 1 )
6	鉄筋・無筋構造物	1	m <sup>2</sup>		第0-0026号代価表

<<訂正後>>

4	コンクリート 18-8-25 (20) BB	2	m <sup>3</sup>	Y173520342K	単位数量:( 1 )
6	小型構造物 人力打設	1	m <sup>3</sup>		第0-0089号代価表
4	型枠	19	m <sup>2</sup>	Y1735203420	単位数量:( 1 )
6	小型構造物	1	m <sup>2</sup>		第0-0090号代価表

「第 0-0090 号代価表」を頁 0-0180 に追加することに伴い、以降の代価表の号数及び頁を繰り下げる。

・代価表 第 0-0089 号 「側溝復旧工-コンクリート」の A 構造物種別

《訂正前》

A 構造物種別	=1	無筋・鉄筋構造物
B 打設工法	=4	人力打設
E 養生工の種類	=2	一般養生
G 現場内小運搬の有無	=2	現場内小運搬なし
K コンクリート種類	=2	高炉
L コンクリート規格	=2	18-8-25 (20)
M 生コンクリート小型車割増	=2	小型車割増あり
N 生コンクリート夜間割増	=1	夜間割増なし
P 豪雪割増	=1	豪雪割増 工種条件と同じ (豪雪割増なし)
Q 費用の内訳	=1	全ての費用

《訂正後》

A 構造物種別	=2	小型構造物
B 打設工法	=4	人力打設
E 養生工の種類	=2	一般養生
G 現場内小運搬の有無	=2	現場内小運搬なし
K コンクリート種類	=2	高炉
L コンクリート規格	=2	18-8-25 (20)
M 生コンクリート小型車割増	=2	小型車割増あり
N 生コンクリート夜間割増	=1	夜間割増なし
P 豪雪割増	=1	豪雪割増 工種条件と同じ (豪雪割増なし)
Q 費用の内訳	=1	全ての費用

＜特記仕様書＞

・頁 28 「4. 見積りにより決定した歩掛について」の代価表号数

《訂正前》

仮設ガードレール設置 H形鋼基礎付	第 0-0096 号
仮設ガードレール撤去 H形鋼基礎付	第 0-0097 号
設計条件の確認	第 0-0105 号
設計計算書作成 支承補強装置 検討含む	第 0-0106 号
設計計算書作成 落橋防止装置 (ブロック型方式) 検討含む	第 0-0107 号
設計図作成 支承補強装置	第 0-0108 号
設計図作成 落橋防止装置 (ブロック型方式)	第 0-0109 号
数量計算書作成 支承補強装置	第 0-0110 号
数量計算書作成 落橋防止装置 (ブロック型方式)	第 0-0111 号

《訂正後》

仮設ガードレール設置 H形鋼基礎付	第 0-0097 号
仮設ガードレール撤去 H形鋼基礎付	第 0-0098 号
設計条件の確認	第 0-0106 号
設計計算書作成 支承補強装置 検討含む	第 0-0107 号
設計計算書作成 落橋防止装置 (ブロック型方式) 検討含む	第 0-0108 号
設計図作成 支承補強装置	第 0-0109 号
設計図作成 落橋防止装置 (ブロック型方式)	第 0-0110 号
数量計算書作成 支承補強装置	第 0-0111 号
数量計算書作成 落橋防止装置 (ブロック型方式)	第 0-0112 号

<見積り単価>

・積算参考資料 3/3 「本工事の積算で採用した見積単価」

<<訂正前>>

名称	規格等	単位	採用単価 (円)
ｼﾞｬﾊﾞﾗ蓋	SSﾀｲﾌﾟ	枚	6,250
排水ｺﾞﾑ管	15A×300	本	5,700
導水管	15A×3000	本	10,500
支持金具	φ200用 溶融亜鉛めっき ﾏﾝｶｰ含む	組	8,500
ｱﾝｶｰﾎﾙﾄ SD345	D35×620 ｼﾞﾝﾞ切り長L=100 M33片ｼﾞﾝﾞ切り(ｼﾞﾝﾞ切り部溶融亜鉛めっき)	本	2,360
H鋼基礎付ガードレール	賃料 120日間 積卸運搬費含む	m	6,440

<<訂正後>>

名称	規格等	単位	採用単価 (円)
ｼﾞｬﾊﾞﾗ蓋	SSﾀｲﾌﾟ	枚	6,250
排水ｺﾞﾑ管	15A×300	本	5,700
導水管	15A×3000	本	10,500
支持金具	φ200用 溶融亜鉛めっき ﾏﾝｶｰ含む	組	8,500
ｱﾝｶｰﾎﾙﾄ SD345	D35×620 ｼﾞﾝﾞ切り長L=100 M33片ｼﾞﾝﾞ切り(ｼﾞﾝﾞ切り部溶融亜鉛めっき)	本	2,360
H鋼基礎付ガードレール	賃料 120日間 積卸運搬費含む	m	6,440
再生粒度調整砕石	R M-25	m <sup>3</sup>	2,300

## 設計書正誤表

工事名称：赤木橋耐震対策工事

誤				正				
ページ	費目・工種・施工名称・規格	数量	単位	ページ	費目・工種・施工名称・規格	数量	単位	備考
内訳書 頁0-0033の 6行目	6 PC用定着装置（後付用） φ26鋼棒用 アンカプレート、ナット、ワッシャー	40	組	内訳書 頁0-0033の 6行目	6 PC用定着装置（後付用） φ26鋼棒用 アンカプレート、ナット、ワッシャー	80	組	
内訳書 頁0-0033の 7行目	6 注入材（材料費） 0.81kg/本 エポキシ樹脂系	1	本	内訳書 頁0-0033の 7行目	6 注入材（材料費） 0.81kg/本 エポキシ樹脂系	40	本	
内訳書 頁0-0044の 2行目	6 コンクリート 無筋・鉄筋構造物 人力打設	1	m3	内訳書 頁0-0044の 2行目	6 コンクリート 小型構造物 人力打設	1	m3	
内訳書 頁0-0044の 4行目	6 型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	1	m2	内訳書 頁0-0044の 4行目	6 型枠 一般型枠 小型構造物	1	m2	
	備考 第0-0026号代価表	—	—		備考 第0-0090号代価表	—	—	新たに頁0-0180 に代価表 第0- 0090号を追加 し、以降の代価 表の頁及び号数 を繰り下げる。
代価表 頁0-0178 (第0-0089号)	1 無筋・鉄筋構造物	—	—	代価表 頁0-0178 (第0-0089号)	2 小型構造物	—	—	